まつえ 市議会だより

No.33

2017
9月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER

総合戦略関連事業がスタート　平成28年度決算　P3~4

あなたの思いを届けたい　20人の議員が質問　P5~9

松江の元気な子どもたち

【おいしいカレーができるかな】

松江市立中央幼稚園で地域の方々を招いて行われるカレーパーティーを取材しました。
園庭で育てたナスや玉ねぎを年少さんが洗い、年長さんが一生懸命調理してくれました。

第33号　発行日：平成29年12月1日　発行：松江市議会　編集：議会広報等委員会

9月定例会

平成29年9月6日～9月29日

地方創生の補正予算案、総合戦略元年の平成28年度決算など審議し34議案を可決・認定

平成29年度補正予算並びに議案等

9月定例会は、平成29年度一般会計補正予算2件、特別会計補正予算2件及び水道事業会計補正予算1件の計5件の補正予算案のほか、条例案件4件、一般案件7件、議員提出議案3件など審議し、議案34件が可決・認定、議案1件が否決されました。

なお、平成28年度決算14件については、決算特別委員会を設置し詳細な審査を行いました。

一般質問は20名の議員が行い、中核市移行に関する問題、教育施策及び教育環境の問題、子育て支援、まちづくり、防災などについて市長及び執行部の見解を問いました。

平成29年度補正予算（主なもの）

一般会計補正予算　4億2,347万円（補正後の一般会計の総額は946億7,557万円）

・我が事・丸ごとの地域づくり推進事業費	4,400万円
・ふるさと指定寄附金事業	283万円
・松江城・城山公園管理運営費	1,584万円
・松平不昧公200年祭開催経費	1,374万円
・エネルギー構造転換理解促進事業費	1,000万円
・道路維持修繕費、生馬が丘4号線法面対策事業費、生馬が丘13号線法面対策事業費	3,297万円

〈生活困窮者等に対し就労支援を行う福祉就労支援コーナーを市役所1階に設置〉

条例の一部改正（主なもの）

松江市税賦課徴収条例の一部改正について

・配偶者控除及び配偶者特別控除の見直しにより、「控除対象配偶者」の定義が変更されたことに伴い規定の整備を行うもの。

松江市都市計画税条例の一部改正について

・市民緑地に係る特例措置の創設。

松江市児童クラブ条例の一部改正について

・児童クラブ利用者に適正かつ応分の負担を求めるため、使用料の改正を行うもの。

その他の議案

市道根連木池平線地盤改良その3工事の請負契約締結について	契約金額1億4,126万円
財産の取得について（老朽化により水槽付消防ポンプ自動車を更新）	契約金額　4,741万円

平成28年度決算審査　総合戦略関連事業がスタートした平成28年度決算を審査

議長と議会選出監査委員を除く32名で構成する決算特別委員会を設置し、平成28年度一般会計、特別会計、公営企業会計を審査し、事業の成果や今後の課題等について活発な質疑を行いました。

平成28年度は、地方創生と人口減少対策に取り組む、松江市総合戦略関連事業がスタートした年であり、持続可能なまちづくりに向け、第一歩を踏み出しました。また、平成27年度に続き、財政調整基金・減債基金の取り崩しはなく、市債の繰り上げ償還の実施により支払利子を軽減するなど、歳出の抑制に取り組んだのも特徴です。

質疑では、中期財政見通しの方針や介護人材の確保、特産品プロジェクトの内容、一般廃棄物処理基本計画の課題など、様々な課題について、市の考え方を問いました。

〈特産品プロジェクト事業の3本柱の一つ、かまぼこにちなんだ野焼き体験〉

決算特別委員会での総括質疑（主なもの）

質　　問	執行部の答弁
一般会計の一般財源確保に向けてどのような努力をしたか。	一般財源の柱である市税の徴収率上昇に重点的に取り組んだ。また、土地建物未利用財産の売却を積極的に進めた。
公共施設適正化の平成28年度の状況は。	適正化対象の90施設中、平成28年度末までに23施設を適正化し、うち6施設を譲渡。そのうち4施設は地元へ譲渡し、交流拠点として地域の活性化につながると認識している。
第1次総合戦略に基づく、5つの基本目標と10の重点プロジェクトの達成状況、成果や課題は。	地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金などを活用し、山陰いいものマルシェ、インドIT人材確保事業、八百万マーケット設置などに取り組んだ。
市の正規・非正規職員の人数や待遇改善について。	平成28年度職員数は1,388名、非正規職員は713名。法改正により、非正規職員を平成32年4月には会計年度任用職員に移行し、期末手当支給など抜本的な処遇の見直しを行う。
介護保険事業の歳出は年々上昇し、今後もその傾向が予測される。この伸びをどのように捉えるか。	高齢者が増加し、要介護認定者も増える。介護予防や介護報酬の改定などで給付費の伸びは鈍化するが、給付費全体では引き続き伸びていくと考える。

決算特別委員会の審査結果と委員会としての意見は以下の通りです。
（委員会意見は、前年度の予算執行上の改善点を指摘し、次年度予算への反映を求める内容となります。）

一般会計　……　認　定（賛成多数）

◆公共施設の適正化計画を関係者との十分な協議の上、着実に実施されたい。
◆扶助費などの社会保障関係費の増大等により財政状況は厳しさを増す一方である。国の動向等を注視しながら中期財政見通しを的確にローリングし、財政健全化に努力されたい。
◆厳しい財政状況の中で、一律に切り詰め・削減するのではなく、重点事項などを勘案し、メリハリをつけ事業を進められたい。
◆地方交付税の減少などにより、財政が一層硬直化する事態が予測される。財政調整基金及び減債基金を目標値へ届くよう努力されたい。
◆待機児童の解消は早期に必要である。保育園の数の適正化や保育士の処遇改善を進められたい。
◆市民の生活を守る道路、上下水道整備などの公共事業において、建設技能を持つ人材が不足している。人材育成に留意した施策をとられたい。
◆介護人材不足が続いている。介護人材の処遇改善と人材確保に留意した施策をとられたい。
◆松江歴史館やホーランエンヤ伝承館の管理運営については、当初目標入館者数に達しないという課題を抱えている。指定管理者との連携を密にしながら、有料入館者の増加に努力されたい。
◆自主財源確保策の取組として松江らしい返礼品を工夫し、ふるさと納税の増収を図られたい。
◆子育て支援の観点から、保育士の確保支援と放課後児童クラブ指導員の処遇改善及び人材確保に努められたい。
◆急増している自然災害に対し、県と連携し、内水面対策・土砂災害対策などの強化に取り組まれたい。
◆財政状況が厳しい中、政策的経費についてはデータ分析等十分に行い、費用対効果を検証した上で、予算に反映されたい。
◆電源立地地域対策交付金については、経常的経費に過度に充当、依存しないよう十分に配慮されたい。
◆リサイクル都市日本一を目指して分別を徹底し、リサイクル率向上に努められたい。
◆普通建設事業の特に道路事業については、路線の重要性を勘案して、計画的に執行されたい。

一般会計決算状況

	平成28年度	平成27年度	差し引き（28年度－27年度）
歳入決算額	984億9,638万円	1,030億3,556万円	▲45億3,918万円
歳出決算額	972億8,413万円	1,020億3,379万円	▲47億4,966万円
差し引き（歳入―歳出）	12億1,225万円	10億　177万円	2億1,048万円

平成28年度決算の財政指標等　●いずれも前年度に比べて減少し、改善されている。

	平成28年度	前年度比	解　説
実質公債費比率（3カ年平均）	15.1％	▲0.3％	資金繰りの危険度を示す指標
将来負担比率	119.9％	▲8.9％	将来の財政負担の大きさを示す指標
地方債残高	1,205億5,240万円	▲42億313万円	借入金残高を示す
債務負担残高	254億7,378万円	▲16億1,493万円	将来の財政支出が約束された額を示す

特別会計

簡易水道事業特別会計 …… 認　定（全会一致）

◆簡易水道区域の有収率が低い状態にあり、老朽化の更新を計画的に取り組まれたい。

以下認定された特別会計

国民健康保険事業、宍道国民健康保険診療施設事業、後期高齢者医療保険事業、介護保険事業、企業団地事業、公園墓地事業、鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区

公営企業会計

水道事業会計 …… 認　定（賛成多数）

◆住民サービスの向上と健全経営を持続するためにも、第二次松江市水道事業経営戦略プランを検証されたい。

交通事業会計 …… 認　定（全会一致）

◆定期路線利用者の路線ごとの利用状況を分析して、一層の利用者の増加に努められたい。

以下認定された公営企業会計

下水道事業、ガス事業、病院事業

〈松江圏域がん治療の中心、完成した市立病院がんセンター〉

委員会・議員提出案件の審査結果

件　名		結　果
委員会提出議案第6号	性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律の改正等を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案第7号	地方の社会資本整備促進を求める意見書について	原案可決（多数）
議員提出議案第8号	北朝鮮問題をめぐる国際的緊張の高まりを平和的に解決することを求める意見書について	否決（賛成少数）

その他案件の審査結果

件　名		結　果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見の通知について	可決（全員）

市政のここが聞きたい　20人の議員が質問

9月定例会　一般質問

9月定例会では、9月11日から9月13日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

森脇（もりわき）　幸好（ゆきよし）（松政クラブ）

- **中核市への移行について**
- 山陰縦貫・超高速鉄道の整備促進
- 総合運動公園再整備について
- スポーツの振興等について
- フルマラソン大会について
- 農業問題について
- 国民健康保険事業の都道府県化
- 松江市立病院の運営について

質問　教職員人事権の県からの移譲についての思いは

小中学校教職員の人事権の県からの移譲について、反対の首長も出てきている。他の市町村に悪影響を与えてはならない。移譲についての思いを伺う。

回答　人事権の移譲には色々な議論が必要 県教育委員会は調整を図ってほしい

人事権の移譲の必要性が高まっていると思う。それは、ふるさと教育がその後の子どもたちの人生を歩んでいく上でも、市町村を担う人材育成という点でも大事なことだと思っている。どういう人事権の移譲をやっていくことになるのか具体的な案を出して、それを色々議論していくことが必要だと思う。他市町村との間で対立構図が生まれることがないように、県教育委員会が調整を図っていただきたい。

会派代表質問

石倉（いしくら）　徳章（のりふみ）（真政クラブ）

- **市長の政治姿勢と施策の方向**
- 人口減少防止施策とまちづくり施策
- 農業振興施策について
- 林業振興についての基本的考え
- 公共施設適正化について
- 地域経済の現状認識と、市民負担とサービスについて

質問　市民にみえる市民目線での施策と全国地方自治体をリードする政策推進

中核市への移行と目的の達成、市民に利点がみえる施策の推進。生活環境、利便性、文化的など、市民目線での「住みやすさ日本一」の実現と継続的な政策への意気込みを伺う。山陰地方全体の将来の為、山陰新幹線の実現に積極的な行動と意気込みを伺う。

回答　中核市はチャンス、サービス向上に努める 山陰新幹線実現機運を醸成する

中核市になると、自らの責任と判断でまちづくりを行なう権限が増加する。大きなチャンスである。市民にとって、中核市になって良かったといわれる施策を展開し、市民サービス向上に努める。山陰新幹線の実現にむけて、全国に先駆け要望活動を行い、熱意をもって早期に実現する様にしたい。今後、松江市において実現を求める大会を開催し、機運を盛り上げていきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

会派代表質問

比良（ひら）　幸男（ゆきお）（松政クラブ）

- 財政について
- 地域経済について
- 新庁舎の建設について
- 専修学校の支援について
- **文化財登録された水道施設の今後の活用と水道100周年記念事業について**

質問　文化財登録された水道施設の活用を

文化財登録された水道施設の今後の活用と水道100周年記念事業について伺う。

回答　建造物、景観を後世に残しつつ、水源を守る取り組みの推進等を行っていく

忌部千本ダム・貯水池、忌部浄水場は、将来にわたり貴重な自己水源として使い続けていく必要があり、文化財としての保存と同時に、耐震改修等の再整備を行っていく必要がある。また、床几山配水池跡は、将来にわたり保存するとともに、その機能・役割をわかりやすく説明することで子供たちを含む市民・観光客の憩いや学びの場として再整備することとしたい。

100周年記念事業については、貴重な登録有形文化財である建造物、景観を後世に残しつつ、水源を守る取り組みを推進するとともに、歴史を伝える広報媒体物の制作などを行っていきたい。

会派代表質問

篠原（しのはら）　栄（さかえ）（公明クラブ）

- **中核市移行について**
- 原発問題について
- 国民健康保険について
- 窓口業務の委託について
- 空き家対策について

質問　業務の変更や追加についての周知と式典などの計画を伺う

新たな権限移譲で、市民サービスに伴う窓口業務の変更や追加について、市民にどのように周知する考えか伺う。また、移行記念式典など記念セレモニーの計画は如何か伺う。

回答　市報に特集を組みお知らせをすることと中核市スタート宣言をする

窓口業務の変更は丁寧に皆様にお知らせしていくことが必要で、お知らせの方法は市報に数ページの特集を組み広く市民にお知らせをするとともに、手続きの対象者となる市民には個々に、事業者が限定される事務については関係団体を通じた説明や文書にてお知らせをする。また、セレモニーについては、中核市のスタートを宣言する式、共同保健所の開所式などを移行最初のところで行う予定である。

会派代表質問

畑尾　幸生（市民クラブ）

- **教育問題、学力テストについて**
- 介護保険、国保について
- 地方公共団体における内部統制について
- 臨時非常勤職員について
- 城山北公園線（大手前通り）について
- 中核市（保健所）について

質問　市内県立普通高校の学区制のあり方についての見解は

本市で教育問題を考えるとき、県立普通高校の学区制のあり方は避けて通れない。県立普通高校の学区制は県が決めることではあるが、市もこの問題に一家言を持つべきではないか、また県にも主張すべきではないか。

回答　基本的には県の問題であるが時代にあった学区制の見直しは必要

高校の学区制問題は基本的に県の問題であり、県で実施している県立高校のあり方検討会における議論の推移や市民意見などを踏まえて判断されるべきだと考える。

私見（教育長）として、昭和36年に旧松江高校を北高と南高に分離して2校の通学区制がはじまり、以来50年が経過した。この間には東高の設置、少子化、大学への進学状況など、大きく状況も変化している。時代にあった学区制の見直しは必要だと考えている。

会派代表質問

吉儀　敬子（共産党市議団）

- **市長の政治姿勢**
- 島根原発の活断層見直し
- 公民館の統合
- 防災対策
- 文化財の維持・管理

質問　北朝鮮問題での対話、核兵器禁止条約署名、防衛費削減を国に求めるべき

北朝鮮問題の危機打開には、米朝の直接対話以外に方法はないが、安倍首相は、対話を否定する立場である。北朝鮮の核実験を止めさせるため、日本が核兵器禁止条約に署名すべきである。美保基地の防衛力強化等の防衛費増加は、暮らしを圧迫する。市長として、国に対話を促し、条約への署名、防衛費削減を要求すべきでは。

回答　政府に適切に対応していただきたい

北朝鮮問題は、極めて憂慮すべき問題である。外交安全保障は国の専権事項であり、政府において適切に対応していただきたい。核兵器廃絶については、政府において適切に対応していただくべきものと考える。美保基地の軍事基地化については、東アジア情勢は極めて緊迫しており、国は市民の安心・安全を守るため、外交・防衛に最大限努力していただきたい。

三島　進（松政クラブ）

- 都市計画税のあり方について
- **地産地消の推進について**
- 景観条例の見直し状況について
- 高層マンションに対する課税について
- 玉湯まがたま学園整備について
- 保育施設のあり方について
- 自転車損害保険加入について

質問　開発可能地を示し、まちづくり方針を示すことにより民間活力の導入を

農業に必要な農地を特定すれば、農業以外で活用できる基盤整備済みの土地を明示できる。市が農業振興地域やまちづくりに資する開発可能地を示し、まちづくりの方針を示すことにより、民間活力の導入がより一層進むと考えるが、市長の見解を。

回答　定住と雇用に資する土地利用方針を定め都市計画マスタープランに反映

関係部で協議を行って、農業に必要で守るべき農地の取扱いを、都市計画マスタープランに反映したい。これまでに整備をしてきた社会基盤ストックを活用するという考え方から、定住と雇用に資する土地利用方針を定めることにしている。計画策定に当たっては、市域を16地区に分け、課題を分析し、住民と意見交換を行い、それを計画に反映したいと思っている。

野津　照雄（松政クラブ）

- 中期防衛力整備計画の考え方
- 防災訓練とJアラートについて
- 平成28年度補正事業の進捗状況
- 大橋川改修事業の進捗状況、宍道湖水辺の利活用について
- 全国シジミ・シンポジウムについて
- **松江城山稲荷神社式年神幸祭（ホーランエンヤ）について**

質問　大海崎と大井の港、意宇川の浚渫及び櫂伝馬船の新造を要望する

五大地、特に櫂伝馬船の参加地区、中日祭を担当する東出雲町から出ている意宇川の浚渫、大海崎と大井の港の浚渫要望、それから、矢田、福富からは櫂伝馬船の新造船の要望が出ているが対処方針を伺う。

回答　船の航行する水深調査や、新造船についても五大地の皆様と協議する

意宇川の河川浚渫についても、前回から約10年近くたっている。船の航行ルートの水深などを今後調査し支障のないよう準備する必要があると認識している。

櫂伝馬船の新造などについても、今後、五大地各地区の皆さまと会議の場を設け、協議させていただく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

長谷川修二（公明クラブ）

- **市内小中学校の普通教室へのエアコン導入について**
- ふるさと教育について
- U・Iターンの若者への優遇策
- 財政について
- ごみ集積について
- 路線バスの利便性向上と利用促進策
- バス運転手の処遇改善と採用

質問　市内小中学校の普通教室へのエアコン導入の決断を

教育も含めて子育てでも選ばれる松江市を目指すにあたり、未来への投資の柱として、市内小中学校の普通教室へのエアコンの導入を決断されたい。

回答　速やかに整備手法や財源などに工夫を凝らし前向きに検討する

良好な教室環境の確保のためにも、空調の整備は必要なことと認識している。市内小中学校の普通教室へのエアコンの整備については、速やかに整備手法や財源などに工夫を凝らし前向きに検討する。

田中　肇（共産党市議団）

- 原発2号機プルサーマル計画了解
- **7月25日未明の大雨被害**
- 子どもの実態と教育条件整備
- 全国学力調査
- 教職員の超過勤務と労安体制
- 災害時の公衆電話活用

質問　次の大雨までにできることはする姿勢で住民の不安にこたえる施策を

7月25日未明の大雨による、黒田町西原地区の被害の原因をどうとらえているか。被災ゴミの始末を被災者か行政か、どちらが行うかの基準は。今回実際に起こった降雨と災害の状況に学び、同様の降雨により同様の被害が出ないための対策を。次の大雨までにできることはするという市長の決意を伺う。

回答　原因を究明し、被害を軽減するよう、県知事要望で取り上げた

原因は、北田川などの排水能力を上回る集中豪雨による水位上昇、排水不良のためと考える。ゴミの始末は災害対策本部が判断する。罹災証明を受けた高齢者・障がいをお持ちの世帯で自己搬入困難な場合、担当課が回収する。市長として、原因の究明と、根本的な対策及び被害軽減の施策の実施を県知事要望で緊急要望した。

宅野　賢治（友愛クラブ）

- 松江市の業務改革の取り組み
- **AI（人工知能）の活用推進**
- 健康寿命の延伸
- 公園の魅力化と公共空間の有効活用
- 民泊に対する考え方、ルールづくりと具体的な取り組み
- 個人情報保護法改正による取り組み
- 女子高校の将来像と具体的魅力化

質問　AIを活用した無人自動車走行の移動サービスの可能性の検討を

政府が目標に掲げるAI活用の中で、無人自動運転走行による移動サービスの実現もいよいよ現実味を帯びてきている。松江市も地域公共交通において超高齢化等が進行する地域において、AI活用による走行エリア限定領域内の可能性について検討すべきではないか。

回答　導入の可能性について情報収集を行い検討を進めていく

本市の地域公共交通網計画の基本理念を実現するためにも、無人自動運転走行は有効な手段の一つだと認識している。平成28年度、平成29年度、2回にわたり、国土交通省や経済産業省による実証実験に応募した。残念ながら選外という結果になったが、応募したことにより、継続して国から情報が入ってくるので、引き続き導入の可能性について情報収集を行い検討を進めていく。

三島　伸夫（松政クラブ）

- 中核市移行について
- 松江の水について
- 小中学校のエアコン設置について
- **町内会加入促進について**

質問　町内会加入促進への今後の取り組みは

現在の町内会・自治会への加入状況及び過去5年程度の傾向を伺う。また、加入促進向上への市の今後の取り組みを伺う。

回答　町内会・自治会連合会とともに市民へのPRを行い加入を向上させたい

平成29年4月末において松江市の総世帯数は88,771世帯で加入世帯は、54,612世帯で加入率61.5％となっている。また平成24年度の加入率は66.5％であり、傾向として毎年1％程度減少している状況である。

加入促進向上への取り組みについては、町自連においてSNSや新聞紙面への広告掲載などの活動のPRを行い加入率をあげるようにしている。また市として今後もできる限り一緒に加入促進を進めたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

野津　直嗣（のつ　なおつぐ）　（松政クラブ）

- 松江城から見る景観
- 中心市街地の活性化
- 子供たちの安心安全を守る未来政策
- 観光まちづくり政策の在り方
- 定住対策
- 産業振興
- シティプロモーション
- **庁舎改築問題**

質問　庁舎改築にあわせ、末次公園も含めた水辺景観まちづくり整備を提案する

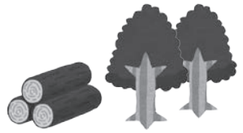
新市庁舎のアプローチとし子育て・水・宍道湖や多様性との共生などをコンセプトとした末次公園の再整備を提案する。あわせて宍道湖の水辺空間・宍道湖温泉駅を活かしたターミナル拠点・城西地域への消費エネルギーの拡大なども含めて一体的なデザインでの庁舎改築や市民が来たいと思ってもらえる市庁舎改築を望む

回答　立地条件を生かし庁舎と公園と水辺を一体と考えて基本方針を考えていく

市民に来たいと思って頂ける庁舎改築をおこなう。御指摘の様に、宍道湖の水辺に近く、末次公園にも隣接し、宍道湖の湖畔という立地条件を生かして、庁舎と公園や水辺を一体的なエリアと捉えて、市民の憩いの場になるように、新庁舎整備基本構想・基本設計を策定していきたいと考えている。

野々内　誠（ののうち　まこと）　（松政クラブ）

- **市産木材の活用と林業振興について**
- 空き家対策について
- 市の花「椿」の振興について



質問　木造化施設の具体的な取り組みを聞く

公共施設の木造化の取り組みのなかで、玉湯まがたま学園計画は、地域の林業振興に大きく役立つばかりではなく量の多さから全国でも注目を集めようとしている。市では先行して木材準備を進める予算措置を提案したが、現在の木材調達進行状況を伺う。また、今後の教育施設などの木造化への考え方を伺う。

回答　可能な限り地域の木材を使いたい

平成33年４月開校を目指す玉湯まがたま学園の施設建築には、５千立方メートルの地域材が必要になる見込みである。数量確保のために木材協会松江支部等と協議を重ね、２年度に分けて発注することで松江市産材と島根県産材で100％の調達のめどが立った。

木造化の考え方については、公共施設全てについての考えはないが、可能な限り地域の木材を使い、木のよさを活かしていきたいと考えている。

米田ときこ（よねだ）　（松政クラブ）

- **一般不妊治療助成制度について**
- 産後ケア事業について
- 介護予防事業について
- 障がい者相談事業について

質問　一般不妊治療助成制度の評価及び拡充について伺う

出生は横ばいだが一般不妊治療申請者は増加している。事業の評価及び医療保険適用外の検査も対象とし、上限額など制度の拡充について伺う。平成30年度からの窓口体制についても伺う。

回答　利用者の意見を聞き、検査の有効性等専門的な意見も聞き検討する

一般不妊治療助成制度の利用者は年々増加している。平成27年度に利用者の意見から、第２子以降の不妊治療も対象とした。どのような制度がより利用しやすく、効果が高められるか検討する。不妊治療の検査内容等については専門的な意見を聞き、有効であるという確認が出来れば、制度の中での対応を考える。平成30年度からの窓口での対応も申請者が負担にならないよう、わかりやすい説明、丁寧な対応を心がけたいと考えている。

河内　大輔（かわうち　だいすけ）　（松政クラブ）

- **松江市の情報発信**
- 電力自由化による新電力の対応

質問　松江市の魅力を発信するスマホアプリ松江お出かけナビの開発を提案する

市民は全ての情報を得たいのではなく関心がある特定の情報が欲しい。イベントや市政の知りたい情報だけを受取れるアプリの開発を提案する。例えばイベント情報を文化、スポーツ、子ども、音楽、食などにカテゴリー分けをして関心のある事柄を登録してもらい、その情報だけがアプリに配信されるようにする。松江市から市民への一方通行だった情報発信が、このアプリにより市民のニーズに合った情報発信になるがいかがか。

回答　大変重要なやりかただと思う工夫してやっていきたい

情報発信を工夫すべきという話は、大変納得できるところが多く参考になった。アプリを工夫すればクリアできるのではないか。カテゴリーを立て知りたい情報を整理していく方法はこれから大変重要なやり方である。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

橘　祥朗（たちばな　よしあき）　（共産党市議団）

- 国保問題について
- 「生活困窮者支援制度」について
- 八束における「地域の将来を考える活動」に支援を
- **八束のまちづくりの当面する課題について**
- 地縁団体における個人情報の管理について

質問　地域の特産と中海漁業の振興策を

ボタンはここ10年で戸数、生産量、販売額とも半減。薬用（雲州）ニンジンは、生産者も１グループと数軒の農家となり、生産量も過去と比べ物にならない。また荒地対策など、行政の多面的支援が必要。

中海の漁獲量も平成17年355トンが、平成28年は89トンと大幅な減少となっている。ウナギの放流事業に期待があるが、長期の取り組みが必要。宍道湖・中海の水質は基準に達していない、改善策は。

回答　伝統ある地域の特産を守り、育てる

ボタンは販路拡大による所得向上、担い手確保に取り組む。雲州ニンジンも島根大学と栽培方法を共同研究中。多面的機能支払い交付金の活用など支援する。中海でサルボウガイ、アサリにウナギなど伝統ある地域の資源を守り漁業振興に取り組む。浅場造成など水質改善対策を積極的に行うと同時に新たな対策を検討する。

出川　桃子（でがわ　ももこ）　（松政クラブ）

- 子育て環境日本一について
- **就学前教育の重要性について**
- 松江てらこや事業について
- ふるさと納税について

質問　就学前教育の重要性の認識、そのための実効性ある包括的体制は

近年世界各国における研究により０～６歳までの就学前児童に対する、非認知能力を育む教育の重要性が明らかになってきている。松江市における就学前教育への取り組み姿勢が必ずしも明確でないが、その認識を伺う。また、子どもに関わる施策について一気通貫で包括的に対応できる体制が必要と考えるが、どういった事をいつまでに目指しているのか伺う。

回答　就学前教育の重要性を認識し、中核市移行の際に独立した部局を設けたい

就学前教育について、重要性や、それに取り組んでいくというものが、やや欠けていたと反省している。就学前教育の重要性を認識し、様々な施策に取り組んでいきたい。できれば来年４月の中核市移行の際に子育て支援の独立した部局を設けたい。

新井　昌禎（にいい　まさただ）　（友愛クラブ）

- きらりと光る元気な企業・事業者を育てる取り組みについて
- 男女共同参画社会の実現への取り組みについて
- **観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化の取り組みについて**

質問　松江城が世界文化遺産に登録されるには周辺地域の環境整備が必要だ

松江城が世界文化遺産に登録されるためには、松江城内の整備や展示の改修を継続的に行っていくとともに、松江城を中心とした周辺地域の環境整備を進めていく必要があるが今後の整備方針を伺う。

回答　殿町のまちづくり構想を話し合う場を10月末を目標に設置したい

松江城については、天守の保存計画、史跡の保存活用計画を策定している。松江城周辺地域の整備方針、計画につては、殿町を中心とするエリアを魅力あるまちにしていかなければならない。新たな商業施設の誘導、駐車場の配置、公共交通のあり方などについて、まちづくりのコンセプトや整備の構想を関係者のご理解・ご協力をいただき検討する必要があり、殿町のまちづくり構想を話し合う場を10月末を目標に設置したい。

貴谷　麻以（きたに　まい）　（真政クラブ）

- **安全な地域のために（地域外交・核燃料）**
- 松江の発展のために、子どもたちや年配者に優しいまちづくりを
- 産業発展のまちづくりと活性化
- 食を守るための仕組み作りについて

質問　地域外交戦略と原子力の再考が必要だ

北朝鮮はミサイルの方向で島根に言及し危険である。地域外交戦略が必要ではないか。国は原子力損害賠償法で、事故時は税金で補償し、製造物責任は問わないとした。しかし配管の心配や崩壊熱もあり原子力規制委員会は新規制基準も安全ではないと認めている。200年は注目されて管理できる新しい仕組みづくりのため原子力発電所を廃炉にし、未来遺産にすべきでは。そして、原発に頼らない産業復興が必要ではないかと思うが所見を伺う。

回答　国同士では紛争があっても地方同士では交流を続けていくことが大切である

地方同士ではしっかりと交流を続けていくことが大切である。廃止措置で、本市の産業振興を頼るつもりはない。総合戦略で強靭な産業基盤を作り上げていきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

自転車事故を無くそう　～「交通安全指導」に参加～

9月29日早朝、秋の交通安全週間に合わせて市内25ヵ所で行われた自転車の安全啓発活動に、議員も多数参加しました。松江市は自転車を利用する人が全国平均より多いまちです。市議会では、交通ルールを守りマナーをアップすることで自転車事故を減らそうと、「松江市自転車安全利用条例（平成26年8月施行）」を議員提案で制定しました。市民の皆さんのご理解とご協力で、事故を無くしていかなければなりません。

〈西津田交差点での交通安全指導〉

友好の絆を未来へ　～宝塚市・松江市姉妹都市提携50周年記念式典～

10月14日プラバホールで、「宝塚市・松江市 姉妹都市提携50周年記念式典」が開催され、市議会からも議長をはじめ多くの議員が出席して、半世紀という節目を祝いました。式典では、これまでの交流の軌跡が紹介される一方、これからの交流の柱として期待される「文化・芸術による情報発信と交流の深化」をテーマに、両市長を含む5名による交流トークも行われました。また、芸術交流の一環として、宝塚市交響楽団と松江市を拠点とする山陰フィルハーモニー管弦楽団による合同ミニコンサートも行われ、出席者はクラシック音楽の調べを楽しむことができました。

〈芸術交流の一環として行われた合同ミニコンサート〉

松江市議会も、毎年相互に訪問し交流と研修を積み重ねてきました。これからも互いの良いところを学びあい、市民福祉の向上にむけて共に前進・発展していけるよう、末永く交流と意見交換を続けていくことを、あらためて確認しあう機会となりました。

11月定例会日程

月	日	曜日	会　議　名
11	29	水	本会議（会期の決定、提案説明）
12	4	月	本会議（一般質問）
	5	火	本会議（一般質問）
	6	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	7	木	総務委員会・予算委員会総務分科会
	8	金	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	11	月	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	12	火	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	15	金	予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）
	19	火	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

議会事務局 TEL 55-5432

皆さんのご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいており、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいています。

〒690-8540　松江市末次町86
議会広報等委員会（松江市議会事務局）
電　　話　(0852)55-5433
ファックス　(0852)55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/

編集後記

議会は、市民を代表する機関であり、市民の生活に直結する条例や予算・決算などについて活発な論議を行い決定しています。定例会ごとに発行している「市議会だより」が市民と議会の架け橋となり、議会への関心を高めていただきたいと願っています。

議会広報等委員会のメンバーとして心がけていることは、市民の皆さんに「手に取って読んでもらえる」ようレイアウトなどを工夫することです。皆さんからたくさんのご意見が寄せられる市民参加型の議会だよりをお届けできるよう、委員一同研鑽と努力を続けてまいります。

議会広報等委員会副委員長　新井　昌禎